母里小コミスク通信

稲美町立母里小学校　　学校運営協議会　　令和７年２月17日　第６号

こま回し　in チャレラン大会　　2/7(金)

厳しい寒波の襲来と言われる中、子ども達は体調を崩すことも少なく、元気に学校生活を送っているようです。そんな中、オープンスクールで授業参観の後、計画委員会が主催のチャレラン大会が行われました。

９月の座談会での６年生の意見を受け、コミスクでも１つの種目を担当することになりました。12月に「こま回し」をすることを決め、準備を進めてきました。

打ち合わせで役割分担を決める

受付で記録用紙に記名させる

練習場でひも回しを教える

手回し・ひも回しで**タイム**を計る

記録用紙にタイムを記入する

チャレラン大会後に、６年生と感想の交流をしました。

６年生
- ◦久しぶりのこま回しで、楽しかった。
- ◦ひも回しが難しかった。
- ◦回し方を教えてもらって、ありがとう。
- ◦ビンゴでたくさんの人にシールを渡せて楽しかった。

コミスク委員
- ◦ひもの巻き方やこまを投げる方向をアドバイスした。
- ◦さすが６年生。タブレットで集計をしていて感心した。
- ◦気持ちのいい案内をしてくれた。
- ◦各クラスで分担がよくできていて、スムーズに進んでいるのが良かった。
- ◦参観授業の時、発表の声が少し小さく、今くらいの元気な声が聞きたかった。

今回は、民生児童委員３名が助っ人に来てくださりご活躍いただきました。チャレランは大忙しで大変だったでしょうが、お孫さんの様子を見に行ってもらったり、子ども達とのふれあいを楽しんでいただいたりできました。

もう少しお手伝いくださる方がいらしたら、もっとスムーズに運営できたと思われます。次回、こういった機会がありましたら、さらにたくさんの地域の方に来ていただき、ご協力をお願いしたいと思います。

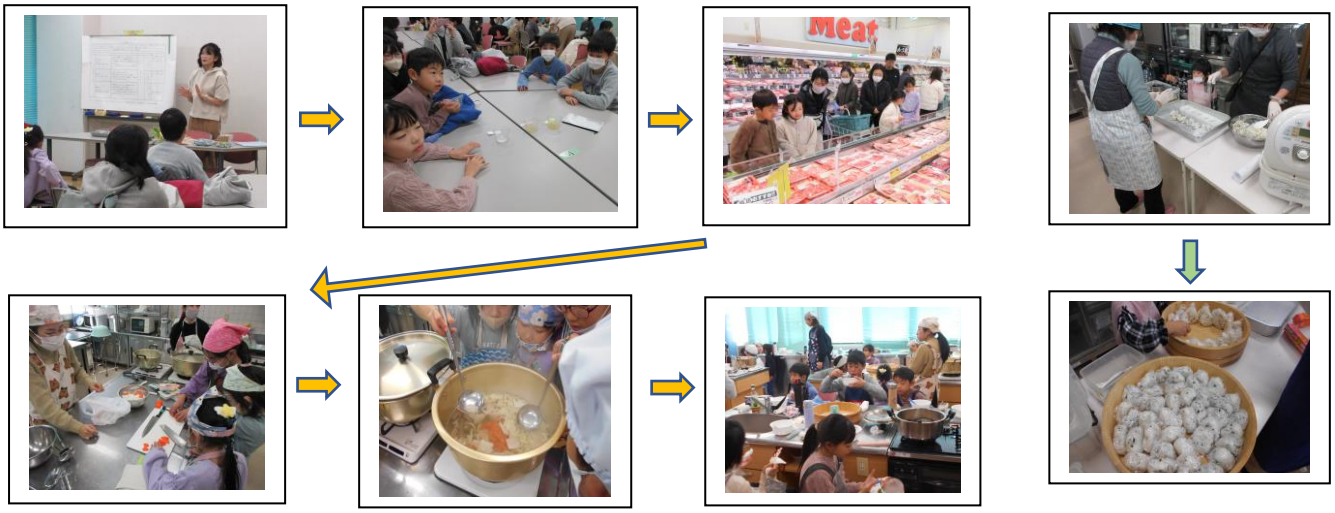
※裏面へ

土曜体験教室「みそ汁づくり」　　1/26（日）

今年度最後の体験教室は、班ごとにみそ汁を作る活動でした。いきいき創造センターの調理室で行われました。

まず、出汁についての話を中澤教頭から聞きました。3種類（いりこ・かつお・混合）の出汁を見て、色や香りが違うことを知り、成分の違いがわかりました。

次に、班で出汁の種類や具材を考え、予算内におさまるように買い物しました。



いよいよ調理の開始です。出汁を取り、材料を洗って切って、鍋で煮ます。高学年がリードして、低学年も仲よく作業していました。家族のアドバイスも大助かりでした。同時に地域学校協働本部「もりっこ本部」のスタッフが、おむすびの準備をしました。

最後にみそを入れたら、完成です。みんなでおいしくいただきました。

児童の感想

・とてもおいしかった。
・出汁を入れるといつもよりおいしいとわかった。
・出汁にいろいろな種類があることを初めて知った。
・材料を決めたり、買い物をしたり、下準備も全部したことが楽しかった。

保護者の感想

・出汁を取ることをしていなかったので、出汁で味が違うことがわかった。
・話し合いや調理の際、子ども達が意見を出し合い、相手の考えも受け入れて活動しているので、子ども達がこんなにできるんだと感心した。
・子ども達の様子を見て、日頃の学校での指導のお陰だと感謝している。

今回は参加者が多く、食に感心が高いことがわかります。７月に自分で作ったお箸を持参している子ども達もいました。とても有意義な食育になったと思います。

もりっこ本部の皆さん、ありがとうございました。